

平成 27 年度 第 1 回帯広市学校給食センター運営委員会 議事概要

日 時 平成 27 年 6 月 5 日（金）11：00～12：30

場 所 帯広市学校給食センター 研修室

出席者 【委 員】近藤委員・無江委員・通山委員・勝部委員・高橋委員・立川委員
川田委員・山崎委員・耕野委員
【事務局】八鍬教育長・嶋崎部長・堀田センター長・山名副センター長
石田主幹

1. 開 会

2. 任命状の交付

会議に先立ち、八鍬教育長から全運営委員に任命状を交付

3. 教育長挨拶

学校給食は、学校給食法に基づき学校給食の一環として実施してきた。平成 21 年 4 月の改正に伴い、食育の推進が学校給食の大きな役割として位置づけられた。

学校給食は、生きた教材とも言われ、様々な教育効果や役割が期待されている。学校、家庭と連携しながら食育の推進に努めていきたい。

今年の 4 月から稼働している学校給食センターにおいて、食育や地産地消の視点に立ち、帯広市の地域特性を生かした魅力ある学校給食を提供できるよう、取り組んでいく。

4. 場内見学

石田主幹の案内により調理室内を見学（2 階見学コースから）

5. 運営委員会会長・副会長の選出

互選の結果、会長に近藤委員、副会長に無江委員を選出。

6. 議事

(1) 運営委員会の役割等について

（事務局からの説明要旨）

学校給食センター運営委員会は、教育委員会の附属機関として設置。委員の任期は 2 年間。主な役割は、教育委員会の諮問に応じた答申、意見の具申、給食物資小委員会給食献立小委員会の他、給食運営全般についての審議をお願いしたい。今後想定される審議事項としては、①給食施設の管理及び運営について②地元産食材の活用推進について③新メニュー開発など献立の魅力向上等となっている。

（委員からの質問などは、ありませんでした。）

(2) 学校給食センターの概要

(3) 平成27年度予算の概要について

(事務局からの説明要旨)

現センターは、本年4月から一日に1万4千食の提供が可能な施設として稼働した。給食の提供にあたっては、栄養のバランス、多様な食品構成を考え、バラエティに富んだ献立を考えている。バイキング給食やふるさと給食、学校給食週間における姉妹都市給食の実施、食育指導専門員・栄養教諭・栄養士の学校訪問による給食指導など、地域の自然、産業、食に関する理解を深める取組みを行っている。

今年度よりパン・麺類は帯広産小麦100%のものを提供するほか、アレルギー対応として乳・卵の除去食を提供している。

平成27年度予算の概要について報告する。歳出の合計額は、11億2620万円。その内訳は、給食センターの維持管理費用など管理運営業務に係る経費が4億7571万円、賄材料費など学校給食の提供業務に係る経費が6億4881万円、学校給食における食育の推進事業に係る経費が117万円、地元産食材活用推進事業費として50万円となっている。また歳入は、学校給食費収入(現年度)6億4881万円など合計で6億5537万円となっている。

(委員からの質問・意見等はありませんでした)

7. 小委員会

(1) 小委員会のメンバーの選出と委員長・副委員長の選出

(事務局より提案説明)

給食物資小委員会6名、給食献立小委員会8名を選出し、両委員会の委員長・副委員長については、小委員会の中で決めることとしたい。

(委員からの質問・意見等はありませんでした)

(2) 小委員会審議

(給食物資小委員会)

【事務局】委員会の委員長と副委員長を決めたい。委員長は運営委員会会長に担ってもらっているが如何か。

【委員】異議なし。

【事務局】委員長は近藤会長にお願いする。副委員長は欠席されているが、経験豊富な秋元委員お願いしたいと思うが如何か。

【委員】異議なし。

【事務局】各委員から一言ずつお願いする。

【委員】2期目となる。去年は活発な意見が出ていた。

【委員】生産者の立場で参加している。規格外の野菜が給食で使えないものかと思っていた。

【委員】地元産野菜は帯広産か。

【事務局】帯広産を基本とし、十勝産まで含む。地元産食材の活用について、それぞれの専門的な活発なご意見をいただきたい。

(給食献立小委員会)

【事務局】委員会の委員長と副委員長を決めたい。委員長は運営委員会副会長に担ってもらっているが如何か。

【委員】異議なし。

【事務局】委員長は無江副会長にお願いする。副委員長については、運営委員経験の長い委員から選んではどうか。

【委員】異議なし。

【事務局】副委員長は3期目の川田委員がいいと思うがどうか。

【委員】異議なし。

【事務局】それでは、副委員長は川田委員におねがいする。

次に、献立小委員会としては、新メニュー開発など献立の魅力向上について協議してほしい。

【委員】南商と連携したメニューは引き続き出してほしい。

【委員】子どもからは給食が良くなったと聞いている。

【委員】味付けご飯が出るようになったり、野菜が増えたことがとても良いと思う。野菜嫌いの子どもには少し辛いかもしれない。味付けがうすいと感じることがある。

【委員】部活など運動する子どもには塩分が必要だと思う

【委員】残渣の処理はどのような方法か。

【事務局】ご飯以外の残渣は、破砕処理機で細かく砕いて脱水処理機で水分を抜き、養豚業者に引き渡し、最終的には豚のえさとなる。

8. 小委員会報告

①給食物資小委員会

【委員長】委員長に近藤会長、副委員長に秋元委員を選出した。

今年度の協議事項として、地元産食材の活用促進について専門的立場から意見をもらうことを確認した。

②給食献立小委員会

【委員長】委員長は無江副会長、副委員長に川田委員を選出した。

今年度の協議事項として、新メニュー開発など献立の魅力向上について意見をもらうことを確認した。

また、今年度に入ってからの新メニューに対しての意見や南商メニューを継続してほしいという意見も出た。

9. その他

【委員】給食費の無料化について、検討しているのか。

【事務局】検討はしていない。

10. 給食の試食

11. 閉会